

第9回 触媒化学研究部門 講演会

一講演概要一

- ▶ 日時：2026年1月26日（月） 16:00~17:15
- ▶ 場所：産総研中央事業所5群 5-2棟 6603 第4会議室

『二酸化炭素活性化の触媒メカニズム』



長谷川 淳也 教授
北海道大学 触媒科学研究所 触媒理論研究部門

■カーボンニュートラルの要請のもと、二酸化炭素はサステナブルなC1資源である。しかし、二酸化炭素は熱力学的に安定であるので、その活性化は克服すべき課題である。本講演では、二酸化炭素を用いて有用な化成品を合成する反応における触媒メカニズムについて、これまで進めてきた研究結果を紹介する。エポキシドと二酸化炭素から環状カーボネートおよびポリカーボネートを合成するポルフィリン触媒、ヒドロシランと二酸化炭素を用いて二級アミンをメチル化するBPh₃触媒、電気化学的還元によって二酸化炭素を水素還元するCoN₄C_x型触媒などについて、密度汎関数理論に基づく計算によって得られた反応機構について議論する。



部門HP

【問い合わせ先】触媒化学研究部門（担当：白川）

連絡先：080-2232-9622; mari-shirakawa@aist.go.jp



ともに挑む。つぎを創る。